

2023年3月16日

各位

株式会社大和証券グループ本社
大和証券株式会社
大和アセットマネジメント株式会社

**非上場プライベート・クレジット・ファンドを投資対象とする日本初の公募投資信託
「ダイワ・ブラックストーン・プライベート・クレジット・ファンド」の取り扱い開始について**

このたび、大和証券株式会社は、主に米国企業への直接融資を行う非上場ファンドを投資対象とする日本初の公募投資信託「ダイワ・ブラックストーン・プライベート・クレジット・ファンド」（以下「当ファンド」）の取り扱いを開始します。購入の申込期間は、2023年4月3日からとなります。

当ファンドの投資対象である非上場ファンド「Blackstone Private Credit Fund（以下、「BCRED」）」は、世界最大級のオルタナティブ投資運用会社であるブラックストーンが運用するインカムを重視する投資家向けのプライベート・クレジット・ファンドです。

ブラックストーンは、創業以来約40年にわたり、オルタナティブ運用において業界をリードし、日本を含めた世界中の機関投資家等にオルタナティブ運用戦略を提供して参りました。また、ブラックストーンのクレジット部門はプライベート・クレジットにおける世界最大手の一社として豊富な実績を有しており、2022年12月末時点で約2,460億米ドル（約32.6兆円^{*1}）の運用資産残高を誇ります。

BCREDは、これまで世界の機関投資家の資産運用に用いられてきたブラックストーンのクレジット戦略を個人投資家など幅広い投資家層に提供するために設定されたファンドで、2022年12月末時点の総資産額は約489億米ドル（約6.5兆円^{*1}）となっています。^{*2}

企業に直接融資を行うプライベート・クレジットは、伝統的な金融商品である株式や債券と比較して流動性が限定される反面、市場変動の影響を受けにくく安定した値動きで相対的に高い利回りが見込まれるため、お客様のポートフォリオに組み入れることで長期的な資産形成に資することが期待されます。

当ファンドの管理会社代行サービス会社は大和アセットマネジメント株式会社、投資運用会社はダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドとなります。

当ファンドの設定は、大和証券グループにおける資産管理型ビジネスモデルの確立に向けた取り組みとして、従来、投資機会が限られていたプライベート・クレジット・ファンドを投資対象とする商品を開発し、幅広いお客様にオルタナティブ資産への新たな投資機会を提供するものです。

大和証券グループは、今後も「金融・資本市場のパイオニア」として、お客様の多様な投資ニーズに応える金融商品の開発を通じて、社会に対して新たな価値を提供していきます。

*1 1米ドル=132.70円（2022年12月末時点の為替レートのTTM）で換算しています

*2 2022年12月末時点の純資産残高は約227億ドル（約3.0兆円）です

以上

お申込みの際は販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面」等の内容をよくお読みください。

投資リスク

※ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書(交付目論見書)」に記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

基準価額の変動要因

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。
- いずれの期間においても、とりわけ短期間でファンドの投資目的が達成される保証はありません。投資者は、ファンドへの投資が利益を生み出す保証はないことを理解する必要があります。投資者は、ファンドへの投資の大部分またはすべてを失う可能性があります。ファンドの投資は、リターンのボラティリティが比較的高くなります。

※以下は、ファンドの主な投資リスクを挙げたものです。ファンドのリスクは下記に限定されるものではありません。

ファンド・投資対象ファンドに関する主な変動要因

- 投資対象資産に関するリスク(ローンに関するリスク・優先担保付ローンおよび債券に関するリスク)
- 金利リスク
- 流動性リスク
- 為替変動リスク
- 組入資産の評価に関するリスク
- レバレッジに関するリスク
- その他(買戻しに関する制限)

その他の留意点

- 投資対象ファンドのパフォーマンスはモニターされるものの、ファンドは、投資対象ファンドの運用チームの技能および専門性に大部分を依存します。当該運用チームが投資対象ファンドに継続して関与することの保証はなく、また継続して関与する場合であっても、当該運用チームの運用が継続して成功する保証はありません。
- 投資対象ファンドは通常、評議会の裁量により決定される分配金を毎月支払うことにより、年間を通じて分配可能な収益の大部分を分配する予定です。しかし、分配可能な収益の水準は運用成果により変動するため、分配金の水準または年次の分配金の上昇を保証することはできません。投資対象ファンドの分配金支払い能力は、目論見書に記載されているさまざまなリスク要因の影響を受けます。
- 分配により受益者の元本または値上がり益(評議益を含みます。)が払い出されることがあり、その結果ファンドの純資産価額が減ることがあります。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

リスクの管理体制

- 投資運用会社では、運用リスクの状況について、ファンドの投資制限、投資ガイドライン、運用方針に沿ったものであることをチェックします。また、定期的にコンプライアンス会議を開催し、法令、投資制限、投資ガイドライン等についてファンドの遵守状況をチェックします。

ファンドの費用

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。(消費税率10%の場合)
※これらの詳細につきましては、投資信託説明書(請求目論見書)の該当箇所をご参照下さい。
※大和証券でお申込みの場合

◆お客さまが直接的に負担する費用

		購入時の申込口数	手数料率(税込み)
購入時手数料	購入は、口数でのみお申込みいただけます。 購入時手数料の額は、購入口数に応じて、右記に掲げる率を乗じて得た額とします。 購入時手数料は、購入時の商品説明または商品情報の提供、取引執行等の対価として販売会社に支払われます。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。	2,000口未満	購入金額の3.3%
		2,000口以上5,000口未満	購入金額の2.2%
		5,000口以上10,000口未満	購入金額の1.65%
		10,000口以上50,000口未満	購入金額の1.1%
		50,000口以上	購入金額の0.55%
換金(買戻し)手数料	ありません。		
信託財産留保額	換金(買戻し)時に、評価日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を、換金する口数に応じてご負担いただきます。		

◆お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

管理報酬等	ファンドの資産から支払われる総報酬は、次のとおりです。 純資産総額の年率2.665%程度+年間30,000米ドル+投資対象ファンド投資顧問会社の成功報酬 ^(注) (注)管理報酬、受託報酬および管理事務代行報酬に最低報酬金額が設定されているため、純資産総額によっては、上回ることがあります。
その他の費用・手数料	ファンドは、AML業務報酬、弁護士報酬、監査人報酬、印刷費用等の直接の運営のコストおよび費用を負担する場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、ファンドが負担することにより、投資者の皆様の間接的にご負担いただくこととなります。これらの費用については、運用状況等により変動するため、事前に利率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。これらの詳細につきましては、投資信託説明書(請求目論見書)の該当箇所をご参照下さい。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは…

大和証券
Daiva Securities

〈販売会社〉
商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

管理会社:
IQ EQファンド・マネジメント(アイルランド)リミテッド
管理会社代行サービス会社:
商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会